

浮んぬか 短歌

温泉の 湯の中にまみれて 目をつぶる 浮かぶ苦勞は 桃源の郷 (4/20)

お寿司屋で この音きき ■ 寿司10貫 八十路の秋 御苦勞様と  
(註)

くり 御飯 <sup>はは</sup>亡母が自慢の 味の良き 栗もむくたび 去り思ひ出

長寿となり <sup>はは</sup>亡母の笑顏の はげましか <sup>はは</sup>泣かす歩け おりせず暮せ

(笑) 實さんは 花も実もある バカ賣い ヒデオ通い はげましく

り かんこ見参すて 出征し

<sup>はは</sup>亡母強し 薪火を越え 疎南地は お菓子と下着 我に持ち来る

スニーカー 跡まぬつうけて <sup>はは</sup>一年 よめよれになり こみ糞の中

むれ集い 落穂ひらきの カラス鳥 寒いとわす 勇気とくれる

汗流し 燃えて花さく 相模かな

いつこぶ? いつこぶかと 八十路かな 両手に杖で やくり歩き

長寿が来り 歩く苦勞は 柳はずれ 初に避けない 認知症

肌寒し 猫畑腹は、日向は 秋もべこで うらとねむる

めろめく 我のすこやか 気がついて 歩く一歩に 氣ずか家族

野本浩一様

令和5/2/21

三寒四温のさなか、いつに変わぬ'伝家宝'を

お送りいただき厚く御礼申し上げます。大変元気をいただきました。

毎日のニュースの中でウクライナ戦争の影響が深刻です。

古界中のえい知を結集して一日も早く平和がくるとを祈り

います。スタッフの皆様・会員の皆様への御健勝とご活躍

を祈りつつ御礼と致します

長野県松本市渡田5188-16 松原伸伍